

# ラクトフェリン フェカリス菌

# EGCg

60歳、70歳の方がお母さんのおっぱいを飲めたら、  
ガンを予防し、免疫力を活性化し、風邪もひきにくいでしょう。

母乳の“初乳”に最も多く含まれるラクトフェリンや乳酸菌には様々な効用があることが分かってきました。赤ちゃんは生まれて10カ月ぐらいまでは病気になりません。その秘訣は母親の“初乳”にあったのです。初乳には“ラクトフェリン”と云うタンパク質の含有量がきわめて高く、免疫が出来ていない赤ちゃんにとっても、ラクトフェリンが非常に重要な感染防止作用があります。又、ある一定量のラクトフェリンや乳酸菌を摂取すると、C型肝炎・ガン・アレルギーなどの疾患にも有効な事が様々な臨床実験から分かってきました。



## ラクトフェリン

- ①風邪などの感染症の重症化を予防
- ②ガンを予防する作用
- ③免疫を調整しアレルギーを予防
- ④細菌やピロリ菌の除去
- ⑤下痢などを予防する整腸作用
- ⑥鉄の吸収を調整する作用
- ⑦C型肝炎などのウイルスの抵抗性の向上

●免疫が低下する糖尿病、膠原病やリウマチ等の自己免疫疾患（ステロイドによる免疫低下）、感染症が心配な喘息、心疾患、肺疾患、又、C型肝炎、抗ガン剤や放射線治療による免疫低下などの重篤な病気の方は、1000~2000mgの量が推奨されます。風邪やインフルエンザの予防には500mg、ワクチン投与時、風邪の時は1000mgが目安です。又、ラクトフェリンは乳酸菌と一緒に摂ると相乗効果が期待されます。

●国立がんセンター中央病院と横浜市大では45人のC型肝炎ウイルス患者に1日1,800mgのラクトフェリンを投与し臨床試験を行いました。その結果、20%に当たる9人の血中のウイルス量が半分以下になったと報告されています。

## エンテロコッカスフェカリス菌

### 腸管免疫活の活性化

「エンテロコッカスフェカリス菌」は、乳酸菌の中でも優れたTNF-a(腫瘍壊死因子)など免疫賦

活機能があります。人は加齢と共に腸管の「善玉菌」が減少し「悪玉菌」が増えます。腸の善玉菌が増えれば、免疫が高まります。

- ①全身の免疫力の活性化
- ②腸内の善玉細菌を著しく増加させる
- ③消化酵素分泌活性化
- ④腸内免疫寛容の調整・日和見感染の防止
- ⑤アレルギーの侵入を防ぐ免疫の活性
- ⑥免疫を細胞性免疫(Th1)優位に増強
- ⑦TNF-a(腫瘍壊死因子)の活性化
- ⑧インターロイキン12の誘導生産

老化と共に免疫が低下しますが、高齢者は腸管免疫が重要な生体防御の役割を果たします。感染症やガンの治療にも、腸管免疫を活発にする事が大切です。C型肝炎治療・抗腫瘍・白血球減少症・感染防御などの特許があります。

## EGCg抗菌・抗酸化+抗がん作用

緑茶に含まれる「カテキン」は「勝て菌」と云うように、抗菌作用があります。8種類のカテキン中、エピガロカテキンガレート(EGCg)が抗菌・抗酸化力が強く、抗ガン作用があり、ガン細胞の自殺を誘導し、ガン細胞の増殖を抑えます。

●EGCgはガン細胞の表面に結合し作用しますが、他のカテキンには結合力がなく効果が期待できません。EGCgは緑茶だけに含まれます。